

平成 26 年度事業報告

2014 年度の日本経済はアベノミクス 2 年目となり、4 月の消費税引き上げを前にした駆け込み需要が生じ、その後の反動減で大きく揺れ動いた年でした。金融緩和と公共投資、岩盤規制改革そして 2020 年東京オリンピックを見据え、経済活動が活発になり、業界によっては人手不足を招くまでの状況を呈しました。

また、円安に伴う輸出関連企業では、自動車をはじめ、電機産業等は最高益を出すなど各企業は好決算を出しました。そして今年度に入り日経平均株価が 15 年ぶりに 2 万円を超すなど、資本の活力が増している状況です。

こうした日本経済の好調さが喧伝される中、市工連を構成する中小製造業においては、規模や業種によって違いは見られますが、未だその効果は小さく僅かながらのまだら模様というのが実感です。

一方で好決算を出した大手企業のベースアップや賞与の増額などの声が聞かれ、中小製造業は人手不足の課題を抱えながら対応に苦慮しているのが実情です。今後も円安に伴う燃料費や原材料費の増、労働力不足に伴う賃金コスト増への対応等中小製造業にとりましては難しい舵取りをしていかなければならない状況です。

経済のグローバル化で経済状況が大きく変化する中、日本の多くの産業は成熟・衰退期に集約され始めております。新しい用途開発や新市場の開拓、製品のリニューアル等、常に創意工夫とイノベーションそしてチャレンジしていくことが生き残りの方策だと感じます。

こうした中、横浜市工業会連合会としましては、平成 26 年度も地域工業会の声を反映した活動ができるよう各委員会で議論し、検討した結果に基づき事業を進めてまいりました。

特に厳しい経営環境を背景に企業が孤立しがちの状況の中、会員企業との意思疎通を重要な視点に置き情報提供を行いました。また、中小企業支援等の政策立案を横浜市と協議しました。

既存事業も着実に進めるとともに創立 30 周年記念の賀詞交歓会を行うとともに記念誌を作成し会員及び関係機関等へ配布いたしました。

I ものづくり活性化事業

1 基盤整備事業（産業振興に関する課題の掌握、提言、対応策の実施）

（1）地域工業会との連携強化に向けた市工連委員会の活動

市工連としての意義が求められている中で、多くの地域工業会代表が参加し、意見交換やその結果が反映されるよう、委員会の活性化を通して課題解決に向けた活動に努めました。

ア 5 委員会の開催延べ回数：10 回

（委員会別開催実績等は V の総会、理事会、委員会等のとおり）

（2）横浜市と本会との施策検討会の運営

実効性のある横浜市の中企業振興策の立案・実施に向け、行政とともに考える場を設置し、具体的、かつ実効性の高い施策検討協議を行いました。

（3）産業振興に関する提言、調査、研究

行政機関等の産業振興施策に反映されるよう、上記（2）の施策検討会での協議を活かして、ものづくりを中心とした振興施策、企業経営及び立地環境の改善等に関する意見・要

望を集約し、林横浜市長に「平成 27 年度予算に対する産業振興に関する要望書」として提出しました。

- ア 提出日 平成 26 年 10 月 29 日（水）
- イ 場 所 市役所応接室
- ウ 出席者 林横浜市長、牧野経済局長ほか
榎本市工連会長、各地域工業会会長ほか
- エ 要望書概要
 - (ア)重点要望事項 2 件
 - ・成長分野育成ビジョンへの参画誘導の推進
 - ・テクニカルショウヨコハマの今後の方向性
 - (イ)局別要望事項 23 件

2 ものづくりネットワーク形成促進事業

新事業展開や新製品開発、受発注機会の拡大を支援するため、情報交換会・商談会を開催しました。また、常時会員企業からの受発注等に関する相談に応えるとともに、情報提供を行うなど、市内製造業のネットワークづくりを促進しました。

(1)受発注相談（電話・FAX・Eメール等による受発注相談）

- ア 相談件数：121 件（商談会によるもの 111 件）
- イ 成約成立：28 件、次年度へ継続：116 件

(2)商談会等の開催

ア 受・発注商談会（川崎開催）

- 日 時 平成 26 年 9 月 18 日（木）9：00～17：30
- 会 場 川崎市産業振興会館 1 階ホール
- 主 催 （公財）神奈川産業振興センター、川崎市、
（公財）川崎市産業振興財団、川崎商工会議所、川崎信用金庫、
市工連、横浜市
- 参 加 322 社（発注 59 社・受注 263 社）・商談件数 1,142 件
- 内 容 当日の混乱を回避するため、発注企業及び受注企業の「事前マッチング方式」により運営しました。

イ 受・発注商談会（横浜開催）

- 日 時 平成 27 年 2 月 4 日（水）10：00～17：30
- 会 場 パシフィコ横浜 2F アネックスホール
- 主 催 （公財）神奈川産業振興センター、横浜市、市工連、川崎市、
（公財）川崎市産業振興財団、横浜信用金庫
- 参 加 331 社（発注 60 社・受注 271 社）・商談件数 1,191 件
- 内 容 事前マッチング方式をとり、人気発注企業ブースを一部分割し、受注企業の満足度向上を図りました。発注企業 1 社当たり 20 商談を上限に商談時間を 15 分としました。

(3)横浜ネットワークプラス（受発注情報システム）の運営

横浜ネットワークプラス（受注・発注マッチングサイト）をPRするとともに、会員数の拡大やサイト掲載内容の更新等を行いました。

ア 参加企業加入促進のためのPR活動と会員数拡大

「横浜ネットワークプラス」会員数のアップ：7社新規加入（計421社）

イ 発注案件の登録・公開と受注企業の検索紹介

受けた案件を横浜ネットワークプラスに登録・掲載・更新するとともに、発注案件に対し受注企業を検索し紹介を行いました。

3 テクニカルショウヨコハマ 2015

「未来につながる新たな技術」を主要テーマに、県内に立地する事業所等の技術・製品を展示して、技術力の向上とビジネスチャンスの創出を促進するため、（公財）神奈川産業振興センター、神奈川県、横浜市との共催により開催しました。

（1）開催概要

ア 開催期間 平成27年2月4日（水）～2月6日（金）3日間

イ 会場 パシフィコ横浜展示ホールC・D

ウ 出展数 580社・団体

エ 小間数 440小間

オ 入場者数 27,015人

（2）横浜市ブースの開催

横浜市・都筑区が実施する中小製造業振興のための様々な施策の紹介や活用した企業の技術を周知することを目的に、テクニカルショウヨコハマ2015に「横浜市ブース」を開催し、地域工業会会員に加え、横浜青年経営者会が団体として出展しました。

ア 横浜市ブース 出展企業 44社1団体

イ 都筑区ブース 出展企業 17社

（3）記念講演会（本会主管併催事業）

ア 日時：平成27年2月4日（水）14：00～15：30

イ 会場：パシフィコ横浜2階 アネックスホール

ウ 講師：東成エレクトロビーム株式会社 代表取締役会長 上野 保氏

エ テーマ：中小企業経営の勝ち残り策～中小企業は連携すると強くなる～

オ 参加者：80名

4 ものづくり人材育成支援事業

（1）新入社員合同研修

「帆船日本丸」における甲板みがき、漕艇、登檣、結索などの訓練を含めた研修により、忍耐力や協調性、連帯感などを新入社員に体験させることを通して、企業の将来を託せる人材の育成を図りました。

ア 開催日 平成26年4月10日（木）～11日（金）（1泊2日）

イ 会場 帆船日本丸、同訓練センター等

ウ 参加者 13社 44名（男性36名 女性8名）

エ 研修内容 （テーマ及び指導者・講師）

- ①船上訓練、カッター訓練 日本丸船長、航海士、乗組員等
- ②講義（社会人としての意識を持つ、ビジネスマナー、）
- ③グループ討議（学生時代と社会人の違い）、（理想の社会人となるために）
株式会社スリーマインド教育センター 澤田 顕氏・鞠子みちる氏
- ④講義「海に学ぶ（シーマンシップ）」 日本丸船長 山本 訓三氏

（２）就職に関する懇談会等の開催

神奈川県内の高校卒業生の地元中小企業への就業を促進するため、県内高校等関係者と企業との就職に関する懇談会を開催しました。

- ア 日 時 平成26年6月17日(火) 14:00～18:00
- イ 会 場 横浜市技能文化会館 多目的ホール
- ウ 参 加 神奈川県立磯子工業高校 等 18校22名
会員企業等 58社61名、ハローワーク
- エ アンケート結果 採用内定予定有り 38件、事後接触有り 75件

（３）出前講座の開催

神奈川県内の高校生に対し、ものづくり産業・中小製造業の果たしている役割などを伝えるため高校へ直接出向き講習を行いました。

①神奈川県立磯子工業高校定時制 1年生

- ア 開催日：平成26年9月16日（火）17:45～19:00
- イ 会 場：神奈川県立磯子工業高校定時制 1組から4組の各クラス
- ウ 対象者：54名 （1組・・・15名、2組・・・12名、3組・・・14名、4組・・・13名）
- エ 講師及びテーマ：
 - ①有限会社工研 代表取締役 加藤 高智氏
テーマ：「中小企業と大企業の違いって？」
 - ②株式会社関東精密 代表取締役 杉田 勇氏
テーマ：「仕事との付き合い方」
 - ③株式会社ハルツ 代表取締役 近藤 大輔氏
テーマ：「15歳～35歳までを振り返ってみて、今思う事」
 - ④新羽金属工業株式会社 渉外部長 奥谷 将之氏
テーマ：「失敗と経験」

（４）工場見学会の開催

学校関係者の中小製造業に対する理解を深め、人材の確保と後継者の育成を図るため、就職指導教員と学生を対象に、横浜市との連携のもとに市内企業の工場見学会を実施しました。

①神奈川県立磯子工業高等学校 定時制、神奈川県立藤沢工科高等学校、 神奈川県立横須賀明光高等学校、

- ア 実施日：平成26年7月23日（水）
- イ 見学企業：1社（山陽印刷株）
- ウ 参加者：延べ5名

②神奈川県立商工高等学校

- ア 実施日：平成26年9月5日（金）
- イ 見学企業：3社（日本軸受加工㈱、東洋測器㈱、㈱東京ダイス）
- ウ 参加者：延べ20名

③神奈川県立磯子工業高等学校 定時制

- ア 実施日：平成27年1月23日（金）
- イ 見学企業：2社（三宝精機工業㈱、三池工業㈱）
- ウ 参加者：延べ24名

（5）横浜型若者就労支援事業

横浜市経済局雇用労働課が行った「横浜型若者就労支援事業」について、横浜市内中小製造業をよく知る本会として専門研修・企業実習で協力し、若年層の雇用に結びつけました。募集企業、求職者ともに双方の理解を深めた上で、採用に至ることで本事業は高い評価を得ました。

- ア 求人企業数 10社
- イ 採用決定 2社 2名

5 情報発信事業

（1）インターネットを活用した情報提供

- ア ホームページの運営
緊急、重要な情報の提供に努めました。
- イ メールマガジン「市工連ニュース」の配信
平成26年4月 1日 第296号から
平成27年3月16日 第324号まで 30回配信
配信先 工業会会員等約950件

（2）機関誌の発行

- ア 機関紙「よこはま市工連」の発行
年間2回発行 7月号2,300部、1月号2,500部発行
平成26年7月（70号）、27年1月（71号）
- イ 広報誌「市工連かわらばん」の発行
年間6回発行 各回2,600部配布
平成26年5月（146号）から27年3月（151号）まで隔月発行

（3）重要情報の一斉ファックス・メールマガジン送信

一斉ファックスのシステムを活用して、就職懇談会開催案内や、横浜市ブース出展案内等、各地域工業会会員に直接ファックスで伝えました。また、緊急重要案件についてはメールマガジンでも臨時号を配信し情報の周知に努めました。

- ア 一斉FAX送付回数 4回
- イ メールマガジン臨時号配信回数 5回

II 産業振興施設の管理運営

1 横浜産貿ホールの管理・運営事業

新たな顧客の獲得を目指しホームページの内容の改善・充実を継続して行いました。

また、展示場機能の維持管理に努めました。その他、お客様の計画達成に向け、計画に係る他業者様との連携を図りました。

2 鳥浜・試作型貸スペース（T3）事業

平成26年度は入居企業が1社となりましたが、入居者開拓に努め年度末において、新たに2社が入居し、うち1社が3室に入居したため満室となりました。今後は施設の維持管理に努めます。

III 会員の交流を深める事業（相互扶助事業）

賀詞交歓会など会員の交流を図るとともに、ボウリング大会の開催や、「横浜市工業厚生年金基金」、「災害共済」、「労災保険」、等工業会会員企業や従事者を対象とした各種福利厚生事業を行いました。

また、製造物責任法による企業の賠償責任に対応するため、引き続き本会独自のPL保険の加入促進を図りました。

1 創立30周年記念賀詞交歓会の開催及び横浜青年経営者会の活動支援

創立30周年記念賀詞交歓会を開催するとともに記念誌を作成し会員及び関係機関等に配布いたしました。また、横浜青年経営者会の活動への支援も行いました。

2 第11回市工連ボウリング大会の開催

工業会会員並びに従業員相互の交流を深めるため、地域工業会から選出されたチームによる第11回市工連ボウリング大会を開催しました。

ア 日 時 平成26年11月21日(金) 19:00～

イ 会 場 新杉田ボウル

ウ 参 加 17チーム 51名

3 すぐれたアイデア提案者表彰

各企業において、技術開発、生産性の向上、経費節減等で「すぐれたアイデア」の提案により、企業の発展に貢献した従業員を市工連賀詞交歓会の席上で表彰しました。

ア 表彰日 平成27年1月9日(金)

イ 会 場 ホテル横浜ガーデン

ウ 被表彰者 6社 8名

IV 法人運営

総会、理事会の開催など団体運営に努めました。

V 総会、理事会、委員会等

(1) 総会

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
6月25日 (水)	定時総会	・平成25年度事業報告について ・平成25年度決算について ・公益目的支出計画実施報告書について ・任期満了に伴う理事の選任について ・会長・副会長・専務理事の選任について ・平成26年度委員会の委員について	横浜国際ホテル
3月25日 (水)	予算総会	・平成27年度事業計画について ・平成27年度予算について	産業貿易センター 801 会議室

(2) 理事会、会長会議、各委員会等

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
5月8日 (木)	広報・産学委員会	・よこはま市工連第70号について ・発刊計画について ・印刷業者について ・掲載内容について ・割付について ・原稿作成および広告掲載のお願い ・表紙写真について ・情報伝達システムの整備について	横浜産貿ホール 小展示室
6月16日 (月)	総務委員会	・平成26年度定時総会・第1回理事会について ・平成25年度事業報告について ・平成25年度決算について ・公益目的支出計画実施報告書について ・理事の選任について ・会長・副会長の選任について ・平成26年度委員会の委員について ・平成26年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書の回答について ・地域工業会会長会について	横浜産貿ホール 小展示室
6月25日 (水)	第1回理事会	・平成25年度事業報告について ・平成25年度決算について ・公益目的支出計画実施報告書について ・任期満了に伴う理事の選任について ・会長・副会長・専務理事の選任について ・平成26年度委員会の委員について	横浜国際ホテル
6月25日 (水)	工業会会長会	市工連内規の改正について	横浜国際ホテル

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
7 月 28 日 (月)	事業企画・雇用環境 合同委員会	・連携・共創グループ活動支援について ・よこはま就労支援プログラム事業について ・ものづくり人材育成支援事業について ・すぐれたアイディア表彰について ・ボウリング大会について ・全日本製造業世界コマ大戦 2015 開催へのご協力について	横浜情報文化センター
7 月 10 日 (木) ～ 9 月 26 日 (金)	施策検討会	横浜市課長職以下 15 人地域工業会推薦 14 人グループに分け延べ 14 回開催 ①操業環境について ②事業拡大に向けた取り組みについて ③経営レベルアップの中小企業支援について	(財) 横浜企業 経営支援財団
8 月 4 日 (月)	政策委員会	・平成 26 年度横浜市予算に対する市工連要望書について ・平成 27 年度予算への市工連要望のスケジュールについて ・「チーム de ものづくり」応援事業について	横浜産貿ホール 小展示室
8 月 7 日 (木)	総務委員会	・市工連 30 周年について ・30 周年記念誌について ・平成 27 年賀詞交歓会・市工連 30 周年記念祝賀会について	横浜産貿ホール 小展示室
9 月 2 日 (火)	工業会会長会	・内規について ・市工連創立 30 周年記念誌 ・平成 27 年度予算に対する市工連要望について ・横浜市中期プラン素案の送付について	利休庵
10 月 16 日 (木)	政策委員会	・平成 26 年度施策検討会報告 ・平成 27 年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書について	シルクセンター 中会議室
10 月 27 日 (月)	総務・広報産学 合同委員会	・市工連 30 周年について ・設立 30 周年新年賀詞交歓会について	産貿貿易センター 803 会議室
10 月 27 日 (木)	広報産学委員会	・よこはま市工連 71 号の発刊計画について ・掲載内容について ・原稿作成および広告掲載について ・メール通信について	横浜産貿ホール 小展示室
10 月 29 日 (月)	工業会会長会	・平成 25 年度横浜市中心小企業振興基本条例に基づく取り組み状況報告書について ・Y-PORT センター（仮称）の設立について ・設立 30 周年新年賀詞交歓会について ・鳥浜トライ&トライアルステージ(T3)新規入居者の決定について	木曽路 馬車道店

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
3月9日 (月)	事業企画委員会	・平成27年度補助事業について ・受発注商談支援事業 ・ものづくり人材育成支援事業 ・横浜就労支援プログラム事業 ・ものづくり・商業・サービス革新補助金(経産省)説明会の開催について ・平成27年度市工連独自事業について ・研究教室(仮題)開催 ・新入社員合同研修とフォローアップ研修について ・すぐれたアイディア表彰・福利厚生事業(ボウリング大会) ・平成26年度産貿ホール、T3の状況について	横浜産貿ホール 小展示室
3月16日 (月)	総務委員会	・平成26年度予算総会・第2回理事会について ・平成27年度事業計画について ・平成27年度予算について	横浜産貿ホール 小展示室
3月25日 (水)	第2回理事会	・平成27年度事業計画について ・平成27年度予算について	産業貿易センター 801 会議室

(3)市工連創立30周年 新年賀詞交歓会

日 時 平成27年1月9(金) 16:00~18:00

会 場 ホテル横浜ガーデン

参加者数 139名

(4)地域工業会事務局長会議

事務局長会議を次の通り開催し、市工連と地域工業会との情報交換・連携を図りました。

〈26年〉4月16日、5月21日、6月18日、7月16日、9月17日、10月15日、
11月19日、12月17日

〈27年〉2月18日、3月18日